



青森県感染症発生情報 (2017年第29週)

I 第29週の発生動向 (2017/7/17~2017/7/23)

1. 手足口病については、東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が発令されました。県全体の定点当たり報告数が5週連続で増加が続き、過去5年間の平均を上回っていますので、今後の発生動向に注意が必要です。
2. **RSウイルス感染症**については、三戸地方+八戸市保健所管内、むつ保健所管内で定点当たり報告数が多い状態が続いていますので、注意が必要です。
3. **ヘルパンギーナ**については、県全体の定点当たり報告数が5週連続で増加が続いていますので、今後の発生動向に注意が必要です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はB型2人でした。

II 第29週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減																	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																		
小児科 内科	インフルエンザ															2	0.03	1														
小児科	RSウイルス感染症															3	0.38	2	0.22	14	1.40					5	1.25	24	0.57	10		
	咽頭結膜熱															1	0.13	2	0.22	3	0.30	1	0.20	1	0.17			8	0.19	-1		
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎															2	0.25	8	0.89	12	1.20	8	1.60	2	0.33	2	0.50	34	0.81	-9		
	感染性胃腸炎															20	2.50	13	1.44	24	2.40	33	6.60	28	4.67	19	4.75	137	3.26	-9		
	水痘															3	0.38			2	0.20	1	0.20					6	0.14	-1		
	手足口病															43	5.38	52	5.78	41	4.10	3	0.60	37	6.17	13	3.25	189	4.50	61		
	伝染性紅斑																														-4	
	突発性発しん															6	0.75	6	0.67	5	0.50	2	0.40	3	0.50	2	0.50	24	0.57	1		
	百日咳																														0	
	ヘルパンギーナ															11	1.38	13	1.44	5	0.50	2	0.40	8	1.33	11	2.75	50	1.19	10		
眼科	流行性耳下腺炎																			10	1.00	1	0.20	6	1.00	2	0.50	19	0.45	-1		
	急性出血性結膜炎																														0	
	流行性角結膜炎																														-1	
基幹	クラミジア肺炎																															0
	細菌性髄膜炎																															0
	マイコプラズマ肺炎																									4	4.00	4	0.67	-2		
	無菌性髄膜炎																														-2	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)																					1	1.00					1	0.17	1		

■ は警報、■ は注意報。「空欄」：患者報告無し。

感染症の窓

RSウイルス感染症 (五類定点把握対象疾患)

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、何度も感染と発症を繰り返します。主に冬期に流行しますが、青森県内では2014年以降、年々流行の時期が早まる傾向があります(図)。

症状としては、軽い風邪の症状から重い肺炎まで様々です。しかし、初めて感染発症した場合は重症化しやすいといわれており、特に乳児期早期(生後数週間~数か月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、感染しないよう注意が必要です。

発症の中心は0歳児と1歳児です。咳などの呼吸器症状がある人は、マスクを着用して0歳児、1歳児に接することが大切です。また、乳幼児が日常的に触れるものは、こまめにアルコール等で消毒し、目ごろから石鹸でよく手を洗いましょう。

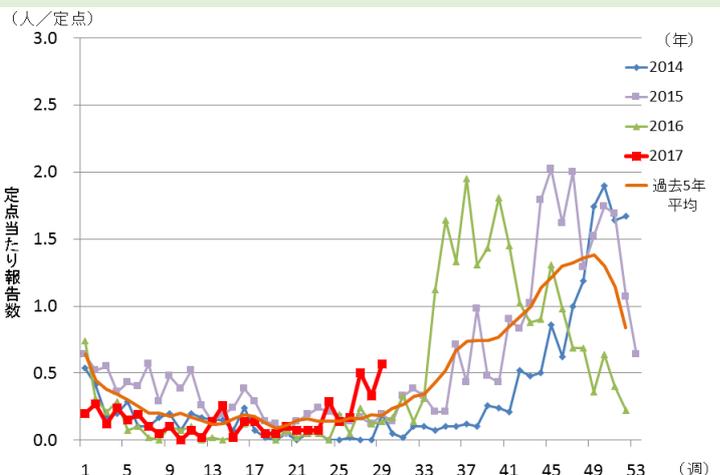


図 青森県のRSウイルス感染症報告状況 (2014-2017年29週まで)

○詳しい情報はこちらをご覧ください [RSウイルス感染症に注意しましょう!\(青森県HP\)](#)



Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市3人、弘前2人、上十三1人 (2017年計:169人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前1人、上十三1人 (2017年計:10人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

下気道炎患者（気管吸引液、6/27）・・・パラインフルエンザウイルス3型：八戸市1人

無菌性髄膜炎患者（咽頭ぬぐい液、髄液、7/5～7/10）・・・VZV：青森市1人、ヒトライノウイルスA：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2017年第26週～2017年第29週)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H29.6.26 ~ H29.7.2	腸管出血性大腸菌 感染症1人	つつが虫病1人	梅毒1人		つつが虫病1人	
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人				つつが虫病1人 梅毒1人	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	腸管出血性大腸菌 感染症1人 アメーバ赤痢1人		梅毒1人		梅毒1人	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23		腸管出血性大腸菌 感染症1人			腸管出血性大腸菌 1人	

Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2017年第26週～2017年第29週)

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
26	H29.6.26 ~ H29.7.2	1	1	1	1		
27	H29.7.3 ~ H29.7.9	1	2		3	2	
28	H29.7.10 ~ H29.7.16	2	1	1		1	
29	H29.7.17 ~ H29.7.23	3	2			1	

Ⅶ 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第28週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	11887	3	80	931	22	8	186	167	18	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ボツリヌス症
累積報告数	2	2	50	1	2	98	99	113	1	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	22	7	1	763	6	584	158	800	392	7

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	99	321	740	36	210	14	2052	169	2880	77

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	55	51	52	164	12

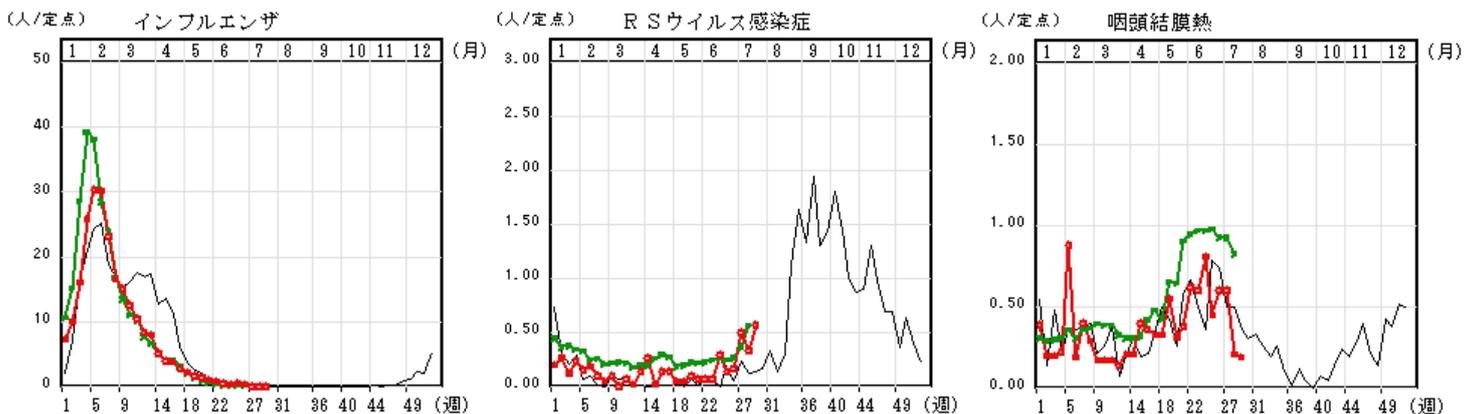
青森県（2017年第29週までの累計）

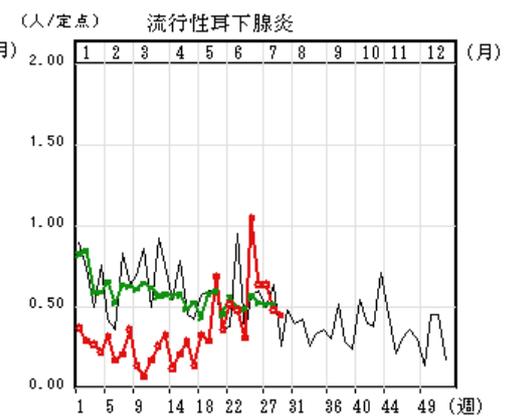
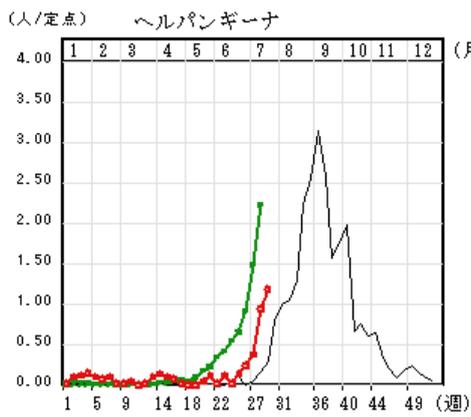
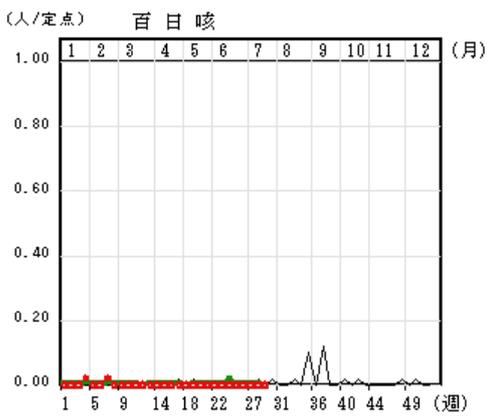
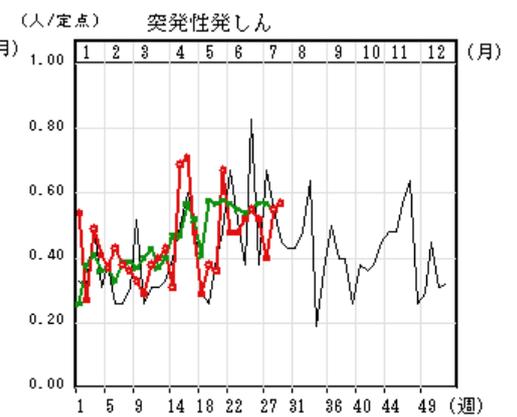
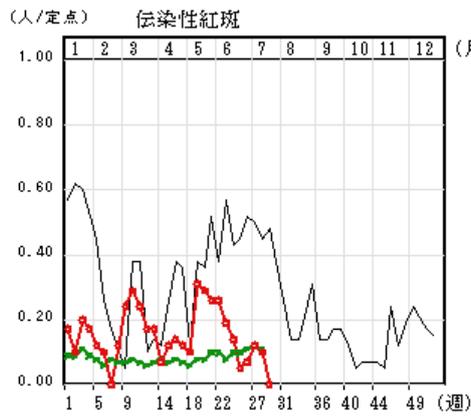
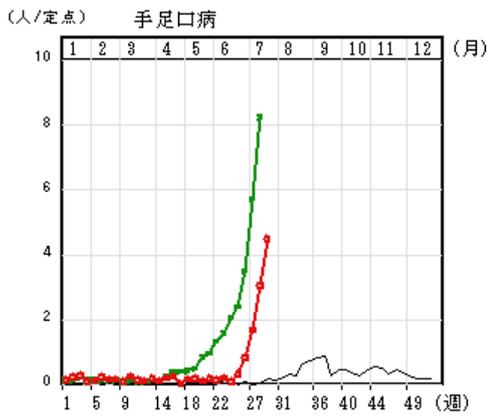
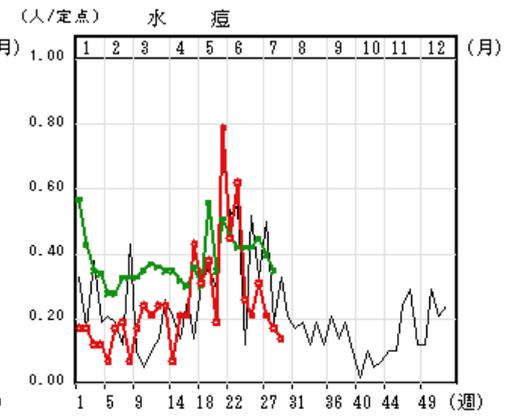
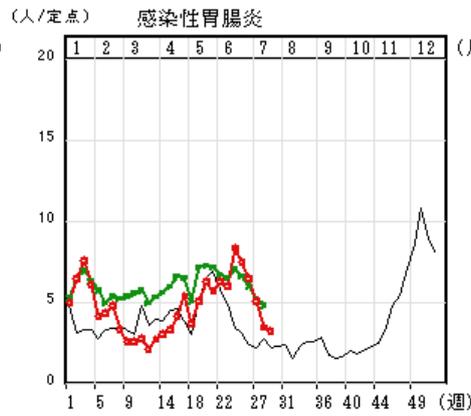
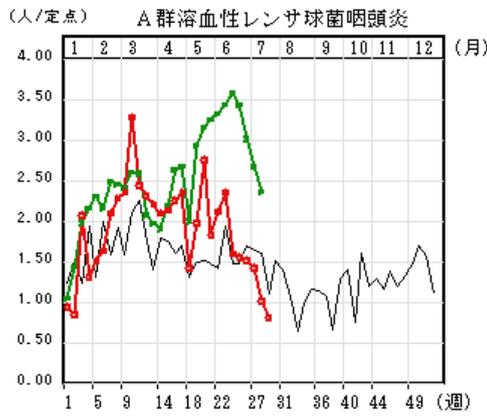
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	169	10	5	2	9	6	3	10	1	2

分類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	5	8	43

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第29週、ただし全国は前週）

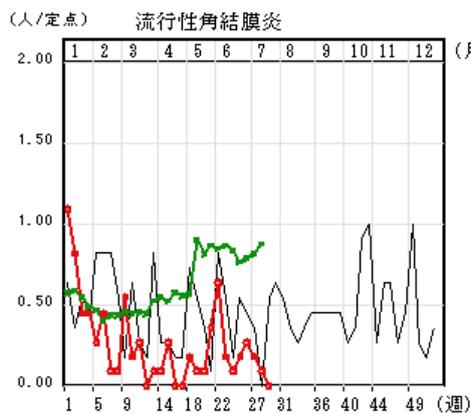
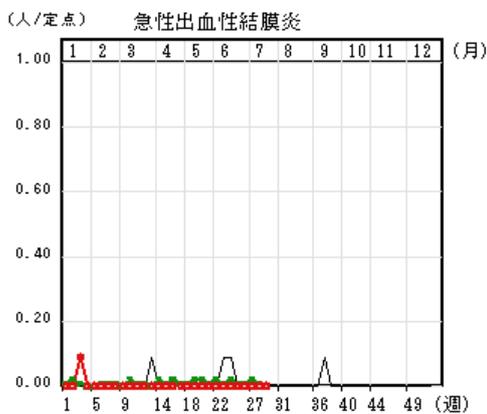
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×——×は2017年全国





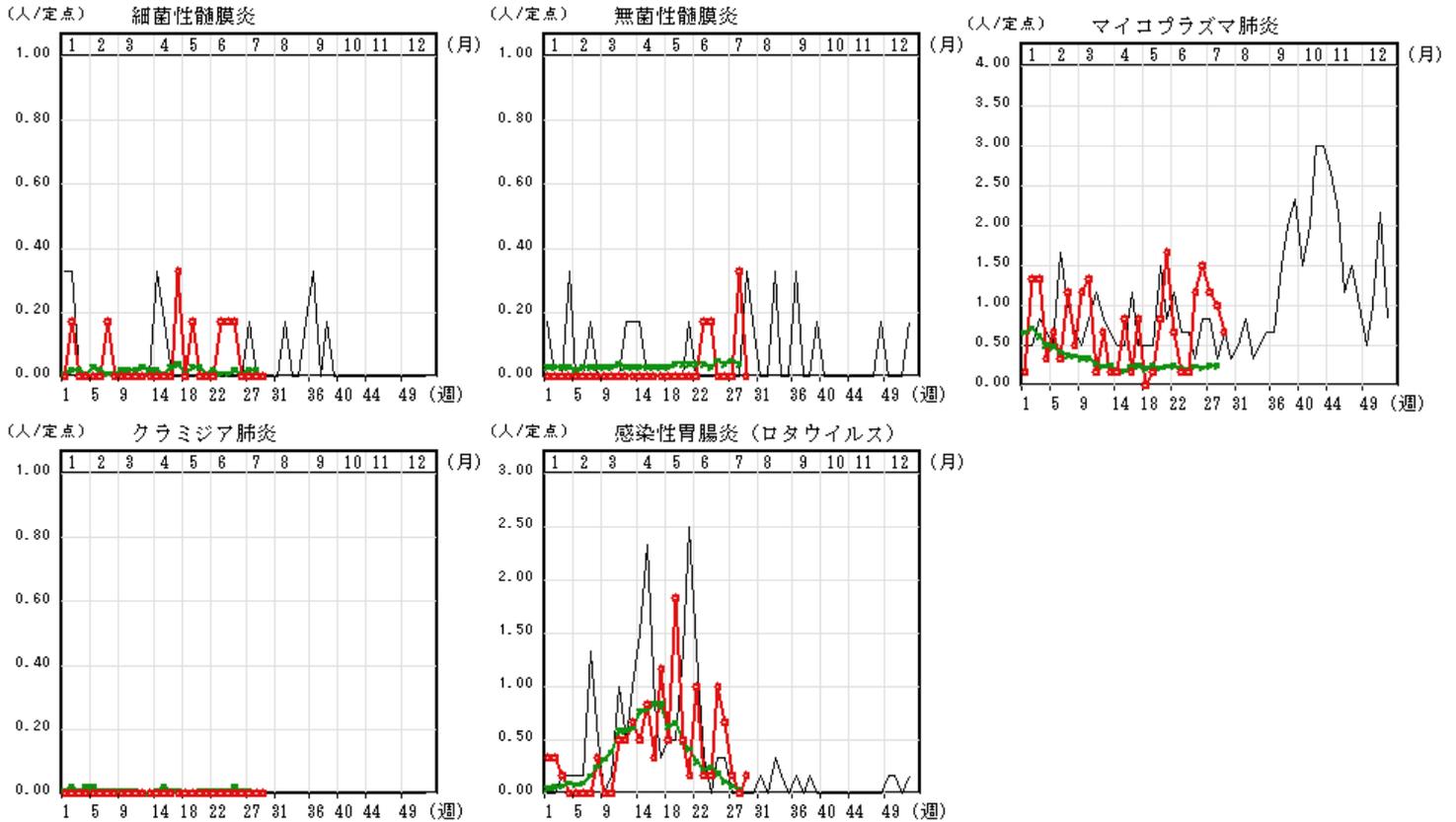
Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第29週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2017年第29週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎 (疑い含む) の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎 (疑いを含む) の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第29週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)										計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-12週	4月 13-17週	5月 18-21週	6月 22-25週	7月 26週 27週 28週 29週				
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	0	0	212